西予だより

議会だより

2007年
3月
定例会
第12号
2007.4.20発行



関地池桜祭り　宇和町

SeiyoAssembly

CONTENTS

議員定数7名削減 ❷
質疑　庁舎建設のゆくえ ❹
きびしい予算を審査 ❻
一般質問 ❽
たった1人の卒業式 ❿
特集 西予市まるごとwatching ⓮

西予議会だより　第12号　http://www.city.seiyo.ehime.jp/gikai.html　E-mail gikai-chousa@city.seiyo.ehime.jp

西予市の風景



魚霊塔（三瓶町）

わが町の取って置きのスポット



大野ヶ原小学校卒業式（野村町）

まだまだあるぞ地域に残る小さな行事

姫塚伝説と供養

三瓶町鳴山地区

伝説によると、昔、京都の公卿の娘がハンセン病にかかり、手当てのしようもなく、うつろ舟で流された。陸地に着く度、そこの人々にうとまれ、上陸することができなかった。ついに白石浦（現八幡浜の地）に上陸したが、追い払われ、山を越え、この鳴山へ来た。鳴山の人々は、娘に同情し、食べ物をあげ、小屋を建てて、「村養い」とした。娘は喜び、鳴山から永久にこの病が出ぬようにと、亡くなるまで、法華経を青く平らな石に写経した。

娘が亡くなった後、その石で祠を建てようということになり、出来上がったのがこの塚とのことである。

娘の命日は6月28日であるが、現在は4月28日に地区総出で供養が行われている。



姫塚（三瓶町）

がんばる編集委員





リレー議員紹介が終了したので、次なる企画として、「西予市まるごとウォッチング」がはじまります。旧五町内には、まだまだ知らない施設や地域の産業などがたくさんあるので、編集委員が市内をくまなく走り回り取材するものです。

合併後、3年間を経過しましたが、西予市は大変広く、地域によって様々な産業や文化、福祉の取組みなどがあるのです。もっともっと旧町間の交流が深まれば、一体化も促進されるし、これまで知らなかった町のことも関心をもって欲しく思います。

議会の事のみならず、西予市についてもっと我々も発掘して取り上げていきます。編集委員もまだまだ勉強中、市内を探険するつもりであちこちに出没します。







編集後記

彼岸参りの帰り道、明るい日差しをあびた菜の花を目にしてふと足を止めました。自分の大切な人がこの世を去ってしまうということについて普段あまり考えようとしないし、正面から向き合うことを恐れ、そのような現実から目を背けがちです。

しかしその日は必ずやってきます。「いつ」なのか誰にもわからないその時を思い、今の大切さを胸に、心穏やかに、夢を持って精一杯生きていこう、そして少しでも皆様のお役に立ちたいと心に決め、帰途につきました。　（ミ）

編集委員
◎委員長　菊地ミスギ
○副委員長　宇都宮明宏
委員　松山　清
元親孝志
亀井秀男
浅野忠昭
山本英男
鍵原芳和

減額・贅沢は敵だ

200万円

は大選挙区・定数24名

第一回定例会が3月7日から23日までの17日間の会期で開催されました。主な議案は平成19年度一般会計当初予算他10特別会計予算、病院事業など3公営企業会計予算をはじめ、条例制定6件、条例改正18件、条例廃止6件、平成18年度補正予算15件等80議案の審査を行いました。

平成19年度予算は、国の三位一体の改革による影響を受け、極めて深刻な一般財源の不足を生じる見込みであり、早期退職者制度・特別職給与や議員報酬の一部カットによる人件費の削減、各種団体への補助金、負担金の見直し、普通建設事業の削減等、徹底した歳出の見直しと各種施策の優先順位についての厳しい選択を行い、限られた財源を必要な事業に重点的、効率的に配分した超緊縮型予算となりました。

19年度重点施策

①新庁舎建設に向けて可能な限りの推進
②CATVの整備を図り、難視聴対策、情報・通信網の格差是正
③市民が安心して暮らせる医療体制の確立
④企業誘致の推進
⑤将来を見据えた財政構造の転換

等5つのテーマを掲げ、西予市総合計画で示された将来像「未来へ輝くゆめ・ひと・ふれあい西予」の実現に向け着実に取り組むとされています。

予算の概要

行政の効率化とくらしの充実

- 「CATV事業」検討に係る推進事業費及び詳細設計
- 庁舎建設調査研究費および基本設計にかかる設計業務
- コミュニティ施設整備で、野村町の前石コミュニティセンターと手都合集会所の建設事業

福祉・保健・衛生の充実

- 三瓶町特別養護老人ホーム建設
- 宇和ひまわりの郷への施設整備
- 地域子育て支援センター事業委託料と延長保育の支援
- 各種健康診断に係る個人負担の見直し
- 地域包括支援センター運営
- ごみ処分費一億円の削減目標達成に向けた分別収集の徹底等、積極的な推進
- 水質汚濁防止のための合併浄化槽設置

産業振興

- 明浜町田の浜地区後継者住宅建設
- 中山間地域総合整備事業で農道・用排水路・ほ場・営農飲雑用水等整備にかかる県営土地改良事業
- 農地・水・農村環境保全活動支援事業
- 市産材木造住宅建設促進事業費・間伐材出荷促進対策事業
- 林道開設費・舗装整備事業
- 田の浜・高山・周木の漁港整備
- 国道378号俵津バイパス改良工事
- 明浜シーサイドサンパーク交流施設整備事業
- 産業創出のための加工品開発・販路開拓支援・地域内発型産業創出事業により、新たに起業する場合の補助金および企業誘致奨励金

社会基盤生活環境の整備

道路整備については緊急性・必要性・費用対効果等を総合的に検討し、計画的に整備を図ることとしている。

□ 市道改良事業では、宇和町で旧町地区277号線ほか7路線・野村町で荷刺大西鎌田西線ほか10路線・城川町で本村窪ケ市線ほか4路線・三瓶町で垣生24号線ほか2路線の改良工事

河川改修工事および都市下水路整備

□ 公共下水道事業における建設事業費・償還金に充当するための繰出金

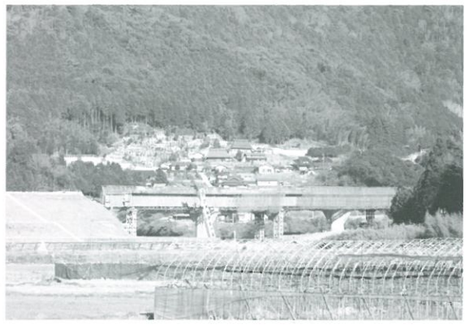
□ 消防費では、小型動力ポンプ付積載車3台の導入配備・耐震性貯水槽5ケ所の整備

□ 災害対策費として、明浜町地区へ「津波一時避難場所表示板」設置

□ 障害児童、生徒へ適切に対応するため、学校生活支援員を小学校で5名増員配備（小学校12名・中学校3名）

□ 三瓶中学校屋内運動場改築と庭球場移転整備

□ 市民セミナーの開催とスポーツ立市へ向け、愛媛県クラブ対抗駅伝大会、西日本軟式野球大会の招致


整備が進む高速道路


CATV基地予定の宇和町社協事務所

19年度7億円

一般会計

229億

決定 次期選挙


春盛りの石城平野をいく

調査研究の経過 議員定数等調査特別委員会は，平成１７年１２月定例会で設置されて以来、１１回にわたり委員会を開催し、精力的に調査研究活動に取り組んできました。調査研究では、同規模の伊予市、離島を含む１２市町村で合併した今治市、本市より広大な面積を有する岡山県新見市、さらには在任特例問題で議会を自主解散し，苦渋の選択をされた大洲市、改革派知事として知名度の高い片山鳥取県知事をたずね、分権時代における議会・議員の果たすべき役割等について研修をいたしました。

アンケート調査 また、市民の意向について把握すべきとの見地から市民アンケート調査を実施し、その結果は議会だよりを通じてお知らせしたとおりです。 アンケートとともに多くの貴重な意見もお寄せいただき、議論の参考とさせていただきました。

結　論 委員会としても、アンケート調査結果を重く受け止め、類似市の動向、地方自治法、公選法等、法的根拠との整合性を含め、選挙区については「民意を尊重すべき」、定数については「厳しい財政状況の下、最大限減ずるべき」との意見があり、集中討論を重ねた結果、公選法の特例規定である「特に必要があるときは選挙区を設けることができる」とする特別な理由は、西予市においては該当しないと判断し、同法施行令の規定による旧町ごとの一部人口に比例しない選挙区定数の規定は、次期一般選挙からは適用されないこと、さらに類似市の動向も考慮し、選挙区を廃止することに決定いたしました。定数については、厳しい財政事情の下、思い切って定数を削減すべきとの意見もありましたが、合併後間もないこと、選挙区廃止に併せて大幅な減員は控え、しっかりと議会活動を行うべきとの意見から定数２４名を特別委員会全会一致で決定いたしました。これら決定事項は次の一般選挙から施行されることとなります。


オープンした海の駅

議会日程

3月

7	水	本会議（開会）
8	木	一般質問
9	金	質疑
10	土	休会
11	日	休会
12	月	常任委員会
13	火	
14	水	
15	木	
16	金	
17	土	休会
18	日	
19	月	
20	火	
21	水	
22	木	
23	金	本会議（閉会）

THE QUESTION

減額予算で「夢・せいかつ」大丈夫？

三瓶町特別養護老人ホーム建設は？

問　建設補助金5億円が計上されているが、50床を全室個室化としたときの総事業費はいくらか。また国県の補助率はいくらか。三瓶の特養建設に関して、住民の反対運動も起こっていると聞くが、この現状をどう把握しているのか。事実とすればどのように対処される予定か。

答　事業については国県の補助金はありません。確かに青年部やスポーツ愛好の方々が代替施設を作らなければ反対だというような意見が一部にあります。しかし代替施設を、5年を目処に作るということで覚書を交わした上で、同意承認をいただいております。優先順位の中で、先に特養をさらせていただき、その後に先程の体協との覚書で取り交わしたとおり、早期に代替施設を作れるように財源確保を含めて、建設させていただく考えでおります。

児童生徒海外派遣委託料について

問　今回、中学生が10名減となったが、なぜか。行き先はグァムとオーストラリアなのか。小学生については国内の研修でもよいのではないか。

答　10名減については市の財政的事情から減員しました。グァムに三瓶町出身の「浜本フルーツワールド」というすばらしい施設体験の出来る農場を持っておられる方がありますのでそこで計画をしています。オーストラリアは世界の中でも治安の優れた場所であり、英語圏でもあることからセッティングしました。国内でも視点を変えれば出来ないこともありませんが、広く世界に目を向けてという当初の考え方から海外に研修場所を決めております。



グアム研修

八幡浜地区施設事務組合について

問　八幡浜消防との関係について、3年後を目処に合併するといっていたが、その後の経過について伺いたい。

答　国が進める消防広域再編動向が早まっていることから、消防広域再編の枠組みがはっきりするまで現状を維持していただくように了解を得ているところであります。なお消防の広域再編については平成18年6月に消防組織法の一部改正がなされまして、消防の広域化を強力に推進することになりました。現在東中南予でそれぞれ意見を集約して、協議会へあげていくという作業部会が発進しています。

浄化槽設置補助について

問　県費については新築住宅の場合は対象外とされるが、本市では従来どおり新築も補助対象とするが、一部見直しをしたと説明があった。どのように見直したのか。

答　県からの補助金がなくなりました。したがって半減しているところですが、西予市においては従来どおり、一定の割合でもって門戸を広げて幅広く新築住宅の方々にも支給をするということでありまして、この割合につきましては、それぞれ率は同じですが人槽によって補助額は違いますが、総じて60％を考えているところです。

体育館の建設について

問　宇和中、三瓶中の両体育館を視察しました。優先順位からすると宇和中だという感じを持った。しかし、今回三瓶が早くなったのはなぜか。なお400Mトラックを今後使用する計画があるか否か伺いたい。

答　三瓶中体育館は老朽化がはなはだしく使用が出来ない。そこで学校施設の中の体育館としてやはり設置が必要であるということで、昨年取り壊して19年度に計画をしているところです。なお400Mトラックについては地元の体協と学校、さらに有識者等の皆さんの意見を伺ったところ、必要ないのではないかとの結論をいただいています。

問　宇和中体育館の建設年度は決定しているか。また、三瓶中の体育館建設に対する三瓶町民のコンセンサスはとれているのか。

答　現段階で何年度に建築しますと断言できませんが、今後、優先的に進めていきたいと考えている。そして説明を聞いてもわからないということについては、今後、それぞれの地区に入って説明をしていく予定ではありますが、現在でも、希望があれば、グループとか、地区とか、それぞれ担当が出前講座のような形で出て行って説明をしています。CATVのスケジュールですが、平成19年度中に実施設計を行ないまして、20～22年にかけて、順次事業を進めていきたいと考えます。



三瓶中体育館建設予定地

CATV事業着工はいつから？

問　CATV整備事業は、どこで全部終わらせるのか。何年度から事業を始めて何年度に終わるのか。市民への詳細説明はどうするのか。

答　スケジュールについて、デジタル化する2011年までには整備するようにしたいと考えています。地域のコンセンサスについて、旧町時代から（旧教育長宛に）地元の体協とかその関係の方々から改築についての決議文とか陳情とかそういったことが出ている実情がありますので、その辺も大切にしていきたいと思っています。



老朽化が著しい本庁舎

庁舎建設について

問　庁舎建設はプロポーザル方式での業務設計委託ということですが、今年19年度に理事者側はどこまでのことを想定されて、この予算を計上されているのか。

答　スケジュールと致しましては平成19年度には建設計画の素案の作成、9月あたりから設計のプロポーザル、業者の選定等も考えています。それとそれぞれプロジェクトとか建設事業推進の委員会とかも立ち上げています。そういうものをそれぞれ19年度中に3～4回開く計画を作っています。さらに19年度中には用地の取得ないし用地契約等が必要であればそういうところにも入っていきます。場所が未定ですので、はっきりはいえませんが、取得の必要があればそういう方向にも進んでいかなければならないと考えます。

問　市庁舎建設計画市民検討委員会を立ち上げるということでした。現在、市議会の方にも庁舎建設特別委員会が設置されています。両者が検討を進めた場合、必ずしも一致しない方向が出ろうかと思います。そういった場合、市長はどういうスタンスで両委員会を見られるのか、伺いたい。

答　両者が違うときに、どうするかということでありますが、そのような想定を今はしておりませんので、安易に答えるべきではないと思っています。今後、それぞれの立場で鋭意努力をいただいたらと思います。

市職員の勤務時間等について

問　退庁時刻の午後5時30分は県下一円の施行か。もう一つは喫煙について、休憩時間以外において外に出てすっている人の休憩的なものの考え方はどのように理事者は考えているか。

答　現在の勤務時間は午後5時15分までですが、これは昼休み45分と休憩15分でありますが、職員組合との交渉の中で、昼休みは1時間欲しいということで、勤務時間が午後5時30分となりました。また、県下では大多数が5時30分となってきています。タバコについては休憩という形とはみなしていないが少しの時間であることから大目に見させていただいて欲しいと考えています。

電算管理費について

問　電算管理費に、約1億7千万円計上されている。これにリース料等も入れるとかなりの金額になる。これをどのように減らす努力をされるのか。

答　今後、他町の委託料、業者等も色々調査をして努力はしていきたいと考えます。



三瓶町『特公賃』市営住宅

住宅管理費について

問　三瓶に立派な特定公共賃貸住宅があるがしばらく人が住んでいないという状況が見受けられます。何か対策が必要かと思うが。

答　「特公賃」といわれるものにつきまして、「特定公共賃貸住宅使用料」というものが計上されています。この特公賃住宅は城川と三瓶の旧両町にあります。広報紙、回覧等により募集はしておりますが今後7.5万円の家賃については、近隣、他市、同じような大きさ、コンクリ系統の住宅を調査の上で、値下げをする方向で、且つ空き家にならないようなことになるのであれば協議を行なっていきたいと考えます。

ブランド産品販路開拓について

問　西予市ブランド産品販路開拓支援事業費補助金百万円はソフト開発費等に利用できるのか。また三瓶町は八幡浜漁協との間に行政とネジレ現象がありますので、その辺の整合性というか、適合性について伺いたい。

答　これは市内の商品の販路開拓とPRをするということでありまして、ブランドの確立ということでイメージアップを図っていきたいということです。ネジレについて、協議をしながら、今やっているところでして、今のところ、問題はないのではないかという思いです。

THE 委員会審査

総務常任委員会

一般会計

財政状況は…

問 財政が逼迫していることを理由に報酬や職員手当の一部カット、各種団体補助金等の削減などに取り組んできたが、一方では、合併当初からいくつもの大型建設事業に着手してきたことも事実であり、このような状況から、市民の不安感を払拭できるのか、市の財政状況を再確認したい。

答 財政力を見る基準として「実質公債比率」や「起債制限比率」などの指数があり、県内でも当市以上に厳しい数値で推移している市や町も数多くあります。当市の状況は危険水域ではないとしても財政力が低いことに変りはなく、国・県に頼りながら財政運営ができているというのが現状です。このことをしっかりと踏まえた上で、予算編成の段階で行政評価システムによる事務事業の見直しや精査を行って、経費節減を図っていくことによって、安定的な財政運営が可能になります。

職員の給与は…

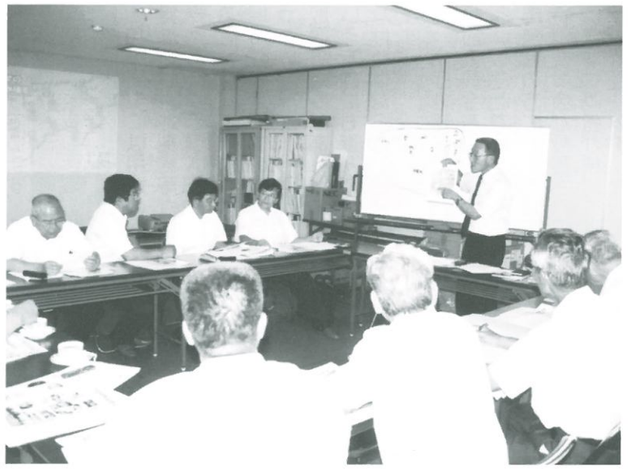
問 市職員の給与格差の是正は、合併後5年を目処に行うこととされていたが、合併から3年が経過した現在、どの程度まで進んでいるのか。

答 市職員の給与格差については、基礎となる職員個々の前歴換算の作業も完了し、個人ごとに作成した資料をモデル給与に当てはめて調整を行っている。既に一部は調整済みのところもあります。

CATV事業のコスト削減は…

問 CATV事業は、人材の活用や事業の効果を最大限に活かせる組織機構とすることによって、事業の経費圧縮が実現できるのではないか。無駄をチェックできる機能の確保や人材の配置をどう考えているか。

答 いろいろな企業から様々な提案がなされており、専門職員の配置や専門職の知識を活かせる制度としたい。なお、ネットワークの構築方法は、無線LAN等の研究なども行いながら、良質安価な事業の実現を目指していきます。



徳島県でのCATV研修

産業建設常任委員会

条例制定

浄化槽市町村整備推進事業

問 事業も徴収も市が管理するということだが、今後他の地域で、この集落排水をする場合はどうなるのか

答 市町村整備推進事業は市が管理するものであり、環境省の要件に合致すれば地域設定を行い、事業は実施できます。

三瓶町津布理地区に農村公園完成

問 この公園を整備した目的及び今後どのように活用されるのか

答 三瓶町にはこれまで、垣生、周木、二及および和泉地区に農村公園を設置しているが、津布理地区においても、地域の強い要望により、住民の憩いと健康増進の場を提供し、地域の連帯感の醸成を図るため整備したものであり、今後の活用については、海の駅と連携した交流等、多くの方々に利用いただけるよう図っていきます。

一般会計

農業者年金の受給権者数は

現在の受給権者数は1千292人で、内訳は経営移譲年金が1千038人、老齢年金が254人です。

経営移譲年金が受給できるのは、保険料納付期間が20年以上ある人が、65歳に達する日の前日までに自分名義の農地を後継者や第3者に所有権を移すか、貸し付けて農業経営から引退した場合に受給できる年金です。

農村環境保全向上活動支援事業

対象地域内の農振農用地面積に応じ活動組織へ交付するものであり、市全体で88組織の対象面積2千785ヘクタールに対して、約9千900万円を交付予定。

この事業は、農村集落では高齢化、混住化の進行により、農地・農業用施設等の保全・管理が困難となっている現状の中で、農業者だけでなく、地域住民、自治会、各種団体が参加した活動組織により環境・保全向上活動への支援を行うものであり、今後5年間の支援事業として取り組まれます。

厚生常任委員会

条例制定

問 「西予市在宅ねたきり老人等介護手当支給条例の一部を改正する条例制定について」は支給額2万5千円を1万5千円に減額し、対象者を住民税非課税世帯に限定するものである。これは福祉の切り捨てという観点からも慎重に対応すべきである。金額についてはもう少し下げてもよいが、対象を全世帯にすべきではないのか。

答 県の補助制度に則した事業であり、介護保険制度を十分利用することにより本来の趣旨は達成されると考えます。福祉はバラマキではいけないので、他市との比較等も併せて考慮願います。



三瓶・皆江の特老予定地

問 「西予市出産祝い金支給条例を廃止する条例制定について」は、少子化対策は今一番考えなければならない問題であり西予市独自の子育て支援策があっても良いのではないか。廃止するのであればこれに変わる制度が必要なのではないか。

答 条例は廃止するが今後も要綱を作って出産祝い金を支給していく考えであります。また子育て支援という面から新しい医療費補助などの施策を検討し支援していきたい。

最後に予算審査においては数字的な説明でなく政策的な部分を重点的に説明するのが望ましいのではないか、今後は各部署とも統一した形での改善を図られたいとの意見がありました。

一般会計

問 三瓶特別養護老人ホーム建設補助金5億円の事業の概要は。さらにこれ以上の建設費が必要になった場合当然市の負担が増加するのではないか。

答 これは宇和町施設協会への補助金であり、過疎債を使う予定なので、市としてはこれ以上支出の予定はなく、残りについては施設協会で支出します。平成20年4月オープンを目指しています。

陳情

日豪EPA交渉に関する陳情を採択

日本と豪州では、農業規模が比較にならず、全く競争にならないことが明確であり、これが自由貿易になると、豪州産農産物の関税が撤廃された場合の影響は大きく、西予市にとっても深刻な問題であることから、採択と決定しました。



終末処理場の通水式(稲生)



一般質問



元親　孝志 議員

Q 個室化の理想と現実を対比せよ
尊厳の保持・自立支援を重視

問 介護保険制度の見直しにより利用者負担が急増している。個室化すれば利用者負担は優に10万円を超えることになる。社会保障とは、本来自力ではどうにもならない社会的弱者を救済するのが公共の目的であると思うが、趣旨を逸脱しているのではないか。10年後西予市では要介護者を何人程度と推定されているのか。その時の西予市の官民合わせたベッド数は何床確保できる見込みなのか。検討されている三瓶町の特老も全室個室化なのか。当面要求されることはベッド数の確保であり、利用料の抑制ではないかと考えるが理事者の考えを伺いたい。

福祉部長 施設の個室化につきましては、高齢者介護の理念は「尊厳の保持」と「自立支援」であり、個人の暮らし方を尊重しその人らしい生活を継続できるような個別ケアの実践と生活支援が重要と考えています。平成26年度で予想される要介護者は、3千154人、ベッド数は573床を見込んでいます。三瓶町の介護施設も全室個室化の計画です。

坂石診療所 地域密着型拠点に

問 法改正により「地域密着型サービス拠点」作りは大幅に規制が緩和された。この機会に是非他の4町にも広めていただきたい。特に坂石診療所を「地域密着型サービス拠点」にしてはどうかと考える。自治体がなすべきことはサービスを必要とするとき、いつでもサービスが受けられる体制を確保すること、将来の年金制度に大きな不安があることを考えれば、質の向上もさることながら、まずは経費削減が利用者にとっても、自治体にとっても重要な視点である。誰でも安心をして、サービスを受けることが出来る体制作りがこれからの課題ではないか。是非早急に「地域密着型サービス」の拠点作りを4町にも検討をしていただきたいと思うが、市長の所見を伺いたい。

福祉部長 予防介護の拠点として、平成20年度までは、年に1ヶ所の割合で計画しており、介護保険事業計画においても、毎年1ヶ所の費用増の見込みを予定しています。平成21年度からの計画については、包括支援センターの事業推進状況を勘案しながら、地域に密着したサービスの拠点作りの推進を図ってまいります。訪問介護ヘルパー制度及び坂石診療所の見直し、利用方法につきましても、今後大変重要な問題でありますので、関係機関、地域の皆さんのご意見を賜りながら検討を進めてまいりたいと考えています。



新しく設置された、包括支援センター（野村）

行政アクセル 大型事業



議会ブレーキ!!



浅野　豊重 議員

Q 可燃物処理の対応は
広域化の中で検討

問 年間一億円のごみ処理費削減は、裏を返せば一億円の増収である。この事は大変すばらしい。しかし、これは関係職員に大きな負担になることを考慮されなかったのか。

福祉部長 18年4月に増員していた一名の職員の退職後は臨時で対応している。18年度途中から担当職員が体調を崩し休養中のため、支所から一名を補充し、休養中の職員を含め4名と臨時職員一名で対応しています。今後、宇和清掃センターの管理や組織改革・分課等も視野に入れ、職員数を充実し、事業を推進したい。

問 市の重要施策は環境、医療、福祉、教育である。特にごみ処理はやり方次第で、無駄にも節約にもなる。現在西予市のゴミ処理施設は、野村に一ケ所あるが、老朽化も進み改修時期が来ている。そのため、県の推進する広域処理に準ずるのか、炉を改修するのか。改修するならばPFI方式にするか市が行うかいずれかの方法を早急に決断すべきではないのか。

福祉部長 現在は広域化計画推進協八幡浜部会が立ち上がり、県及び関係市町と協議中です。西予市だけの問題ではないので十分研究協議を行い、PFI方式も視野に入れ、検討していきます。

庁舎建設について

問 庁舎が老朽化していることによる建て替えは必要である。しかし、西予市には市民生活に直結したCATV整備、学校・特養・病院等の改築等大事業が待っている。庁舎の建築については本庁方式でも各支所を生かした事業分散型にすれば早急に庁舎建設の必要はないと思うが。

市長 庁舎建設は、合併前の確認事項であり、建設に向けて取り組みます。建設計画策定時より財政状況が厳しくなっているおり、計画内容の見直し等によって、機能的かつ効率的で西予市の身の丈にあった庁舎にしていきます。

いずれにしても、市民の合意と、組織機構のあり方等についても検討を加え、スリムで効率的な行政サービスを念頭において進めていきます。





作業風景
（宇和清掃センター）

Q どんぶり館の施設拡充を最大支援したい



大竹　忠盛 議員

問 どんぶり館社長の民間からの選任は、先見性の的をえた英断である。
今後の課題としては、駐車場の確保と、体験農場等を含めあらたな施策が必要と思うが市長の考えを伺いたい。



どんぶり館

市長　年間50万人を超える集客を維持しており、黒字経営であるが、自前の駐車場の確保は今後の経営からも重要な課題と考えており地権者のご理解を頂けるのであれば、土地交換等も含め前向きに検討したい。
　リピーターの確保については、新社長の経営手腕に期待しています。市としても新たな商品企画、観光情報案内や体験農場等の体制づくりは必要と考えるから最大限支援をしていきます。

国・県の権限委譲事務の現状と今後の見通しは

問 地方の権限が増えるということは、同時に責任も増える。その執行体制や事務処理能力と組織機構の改革は急務と思うがその対策はどうか伺いたい。

総務部長　愛媛県では、昨年四月「県・市町権限委譲検討協議会」が設置され本年度から「権限委譲員体化プログラム」により委譲事務が進められることとなります。
　市では「組織機構検討委員会」を設置し円滑、かつ適切に実施できるよう体制を整えてまいりたい。
　委譲後の事務対策については、効率的な組織機構の見直しと併せ、県の支援処置を活用しながら、専門機構等への研修や独自研修を計画的に実施し、職員の専門知識の取得と資質の向上に努めていきたい。

Q 行財政改革への取組みは不断の努力を進める



宇都宮明宏 議員

問 市町村合併は、今までの補助金・交付金頼りの行政運営を改めて、効率のよい組織にして運営をすべきだという国の方針であり、ある意味では地方に対しての最後通告であったのではないかと思うが、合併による財政支援措置のいい面ばかりを見過ぎて事業計画や行政運営に甘さがあったため、今日の財政難にいたったのではないか。

助役　国が推し進めた合併は、法的な枠組みと財政誘導の「アメとムチ」を用いた政策であり、国の意図するところの認識に甘さがなかったとは言い難い過大な建設計画になっていたり行政システムの効率化がはかられてなかった点も見受けられますが、「認識の甘さ」だけで財政難になったのではなく三位一体の改革による影響が一番大きいと分析しています。今後は行財政改革に積極的に取り組み健全財政を築いていきたいと考えています。

問 三位一体の改革により西予市は苦しい運営を強いられているが、これは、合併で最後通告をしていたにもかかわらず、あいもかわらずに箱もの行政を続けている地方に任せておいたのでは行財政改革は進まないので、さらに厳しく指導していくという国の決意の表れではないのか。

助役　三位一体の改革は、国による関与を縮減し税源移譲によって市町村が自ら政策内容を決



森川　一義 議員

Q 職員駐車場の有料化を手当削減のため難しい

問 文化会館の駐車場には、道路側に「文化会館専用駐車場」と看板が立っているが、実際には市役所の職員の駐車場になっているのが現状だ。文化会館の駐車場の中には、市の所有でなく、土地代を支払っている所がある。駐車している職員は、駐車場全部が市の土地だと思っているのではないか。
月に3千円でも出してもらってはどうか。

助役　職員も手当の削減をしているので、現実には難しい。

経費削減と広告入封筒について

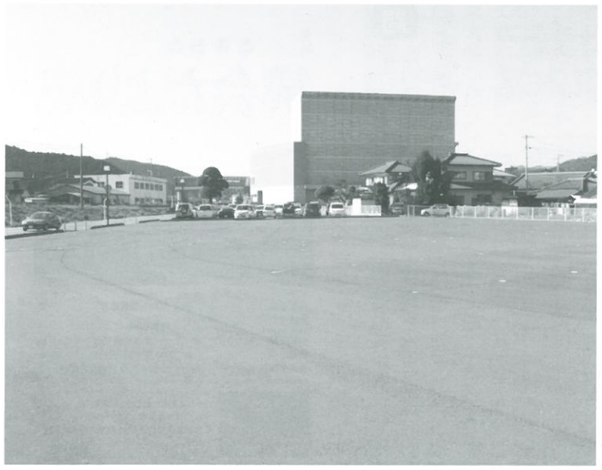
問 西予市の名前が地方紙や月刊紙の広告欄に載っていることがあるが、広告は必要ないと思う。
　読む人も限られているので、西予市が広告を出すよりも、市の広報紙や封筒に市内の企業の広告を掲載して、少しの収入でも確保してはどうか。

助役　経費の削減に努めていますが、情報発信も必要なことから、内容を精査のうえ掲載したいと考えております。広報や封筒に広告を掲載することは、先行例を参考にして取り組んで参ります。

西予市の荒地の開墾について

問 かつて農地だったのに荒地となった所を開墾して、西予市の土地を荒地のない生産性のある生きた土地によみがえらせるべきである。松葉学園や、希望の森の方達に耕作してもらうなど方法はあると思うが。

産業部長　これ以上、遊休化させないために関係各機関と連携をとり、担い手集落法人等への貸付を推進しているところであります。



文化会館駐車場の職員利用を有料に

経常収支比率の改善は

問 平成17年度の90.6%が22年には100%を超えるという見通しになっており、標準が75%ということから危機的状況だと思うが、これを改善する取組みは。

助役　経常収支比率の改善には、行政評価システムを進めることによって自ずから改善出来るものと思っています。これからの財政事情を考えますと、今後の事業は抑制しなければならないと誰しもが共通認識を持つことが大事だと思います。

小学生の雑巾がけリレーは

問 木造校舎で、日本一長い109mの廊下を持つ米博物館を使い教育の一環として雑巾がけという昔ながらの作業を、子供たちに教え・伝えていくため、また、少子化により集団でスポーツをする機会が少ない小規模校の児童が団体行動の大切さをより理解する上においても市内の各小学校対抗の雑巾がけリレー大会を行ってはどうか。

教育部長　西予市の対抗戦となると時間的、財政的に厳しいものがあるので学校教育活動の一環としてではなく他の団体の活動として取り組まれることを期待します。清掃活動についても各学校とも掃除の時間を設定し掃除をする事の大切さを教えると共にボランティア活動にも取り組んでいます。



雑巾がけレース（米博）

Q 地場産業の育成は
ブランド化で対応 A



坂本　隆重 議員

問 愛媛県は当初予算の中で、特産品のブランド化、農林水産業の振興、南予地域活性化対策に力点を置いた南予関連予算は約50億と発表している。西予市としては、豊富な農林水産物をブランド化した産業の育成こそが必要だ。また原油価格の高騰により、森林整備を兼ねて、間伐材を利用し、また穀物、植物を原料とするバイオエタノールの産業を創出してはどうか。地産地消、新鮮で完熟で生産者の顔が見えるトレーサビリティの活用、地域ブランドを活かし、ネット販売などを行い、リピーターに追われる特産品売場にしてはどうか。

産業部長 南予地域は基幹産業である農林水産業の低迷や公共事業の減少などにより、東予、中予地域に比べて特に経済活動の落ち込みが著しいほか、若者の都市部への流出、農業の担い手不足、農地の荒廃等も深刻の度を増している現状です。西予市では一次産業、製造業、観光産業の三つの産業における競争力の強化に重点を置いた、戦略的な取り組みを進め、地域活性化につなげることが喫緊の課題であると考えています。ブランド化については「えひめ愛フード推進機構」の発足を受け、市では地域産品のブランド化の推進に対して支援を行っており、これまでに宇和で栽培している県新品種「あまおとめ」明浜特選みかん「浜風みかん」三瓶特選みかん「mikaman」が愛媛農林水産物ブランドに認定されています。ブランド商品は、品質、安心、安全などに優れ、県産農林水産物の上級品として、消費者に認知度向上と差別化商品として、県外を中心とする販売の拡大を目指し、今後さらにブランドづくりを推進します。次にバイオエタノールの事業化については技術開発の動向を見極めながら研究していきます。



農産物加工場建設予定地（石城）

Q 行政サービスの基本理念は
評価の高い事業に予算を A

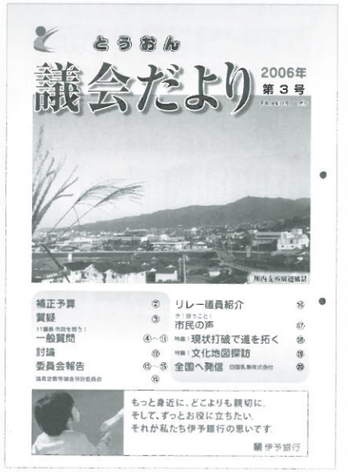


山本　安男 議員

問 西予市民は合併による効果でサービスの向上を期待していたが、現実的には充分なサービスが行き届いてないという実感がある。財政が深刻な中で様々な経費削減が行われているが、その基本理念について伺いたい。

助役 国の三位一体の改革によって、西予市の財政は逼迫しています。その限りある財源の中で行政は如何に市民に最大のサービスを提供し続けて行くかが今後の課題です。そこで、これまでの事務事業の内容や事業・効果等を今一度精査して、効果の低い事務事業は削減、或いは廃止し、また、自らできる業務は自らが行なう等、極限まで無駄を排除して不要な経費を省き、真に必要とされ、効果のある事務事業に絞って充てる必要があると考えます。

また、行政と市民の役割分担を明確にし、それぞれの役割に応じて市民協働により西予市のまちづくりを推進していかなければならないと考えています。この理念のもと、17年より順次事務事業の見直しを行なっているところであり、今後も、事務事業評価システムによって見直しを行い、評価の高い事務事業に予算を配分していくことが必要であると考えています。



広告を入れた議会だより（東温市）

市の広告ビジネスは

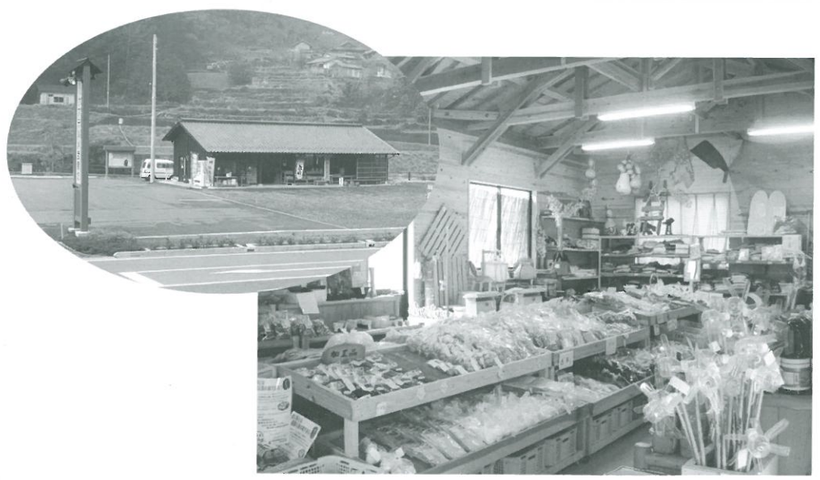
問 松山市・宇和島市新居浜市・大洲市で自治体による広告ビジネスが開始、または計画中と聞き及んでおります。市で発送する各種封筒に広告を載せたり広報誌等に広告枠を設けて企業広告を受ける事により、経費削減や新たな収入源につながると思うがどうか。

助役 先ほどの森川議員の経費削減と広告入り封筒について答弁した内容と同様に、今後先行事例の手法や評価を参考にして取り組んで参ります。

普通財産の無料貸付は

問 地域活性化のため、グループ等が産品販売場を作る場合、普通財産の貸付の無料化は出来ないか。

総務部長 普通財産の貸付料は財務規則に基づいて、固定資産評価額の4%、無償貸付又減額貸付は条例を基に判断しています。該当となるのは、公用、または公益事業に供する時、及び災害等により使用する場合となっています。



商業集積予定地（城川）

Q 地域起業支援を条例で
新制度創設 A



梅川　光俊 議員

問 西予市企業誘致条例及び情報通信関連企業誘致条例は制定されているが、地域の起業者に対して条例をつくって支援をする考えはないか。

市長 地域の活性化には個人起業、新分野創業に新制度を創設し支援をして行きます。対象としては、法人を設立する個人、グループ、新規参入する法人に対して創業時、必要経費二分の一で100万円限度、雇用者一人に付き1万円から2万5千円の助成を行ないます。二つ目は西予市産農林水産物を主原料とした加工品の開発経費二分の一、100万円限度の助成。三つ目、西予市ブランド産品販路開拓支援で西予市産品販路開拓、物産展、アンテナショップ開設、パンフレット作成等の経費の二分の一、100万円限度で設立段階、開発段階、販路拡大段階、共に活用していただきたい。又、利子補給制度を設けます。

特集 西予市まるごとウォッチング 見て歩き！



西予市内の特産品を探して歩きました。それぞれの町にいいものがいっぱいあるでー！

三瓶町 共同加工所 かめさん



「かめさん弁当」のおり詰め

生活研究協議会の活動で取り組んだ加工品作りがきっかけでもう十年経った今、当初の難題だった事も、ひと昔前の物語となりました。普及センターのアドバイスで営業許可申請も難なく、自分達の商品が完成した時は感動でした。日常のくらしの中から得た知恵と技を生かした特産品をと思考錯誤の結果、自信作の数々、「みそ、ひしお、いりっこ豆、そして特産のニューサマーママレード等」。



「かめさん」の加工品

今、街には加工品が溢れ、自然の味が失われつつあり、「おふくろの味」でなく、「袋の味」が食卓に並ぶ事の多い今日、食生活を見直す事の大切さを強く感じます。地元産をふんだんに使った百%手作りの「かめさん弁当」は多方面から好評を頂き、励みになっています。亀の如く焦らず地道な活動は目標とする「スロータウン」そのものと自覚しています。

地域に根ざした伝承活動の拠点であり、食生活を見直す学習の場としての加工所であり続けるために、更に創意工夫を重ね、真心商品作りに努力しなければと思います。会員一同作業を通し信じ合い、楽しみを分け合いながら熟年パワーで頑張ります。（浅野忠）

明浜町 ふるさと創生館



ふるさと創生館

ふるさと創生館は平成3年にオープン。文化、交流事業と特産品加工が主たる事業です。海産物はちりめん、海藻、クッキー！ヒジキ加工等。農産物はみかん類を中心とした加工、試作研究を実施。

明浜町のみかんは生食用として市場への出荷が大多数でしたが、平成3年度ふるさと創生館オープン以来、ジュース、佃煮などの加工品の研究開発に努めてきました。



みかんの搾汁

2004年雑誌「ブルータス」の全国お取り寄せ商品ジュース部門では一位の栄冠に輝きました。

海を見下ろす段々畑、太陽の光と海からの反射光。石垣からの照り返しという三つの「太陽」を浴び、潮風に吹かれたみかんは、まさに無天下…今では代表的な商品名ではないでしょうか？（明浜みかんジュースムテン力）

創生館では、地域活性化活動すなわち農業・漁業の振興につながる特産品の開発を進めています。また、都市部で開催される物産展に参加し、販路の拡大、明浜町をアピールする事によって地域の活性化を目指し、町全体の先導的な役割を果たせるよう努めていきます。（亀井）

宇和町 石城農産物加工組合



石城農産物加工組合

JRいわき駅の直ぐ隣に組合はあります。減反政策に伴い休耕田で取れる大豆などの作物で何とか収益を上げようと昭和58年に設立され、石城地区のJA婦人部、婦人会、生活改善グループの11名でスタートしました。

「家でお母さんが作るもの」をお母さんの代わりに作っていて、餅・お寿司・おこわ・お節句などの料理の他、みそや漬け物などが生産品。どんぶり館での実演販売や生産品のれんげ市場への出張販売などもしています。田植えや秋など季節によって作るものが少なくなるときもありますが、月10～25日くらいの稼働です。



「おはぎ」の出荷準備

訪問したときは、6名で作業をしておりおはぎができあがったところでした。競合の増加なども有り十分な利益の確保は難しくなっていますが、地域の農産品を利用しての生き甲斐づくり、健康づくりのためには大切な取組だということです。現在組合員は9名で頑張っています。（松山）

野村町 中筋農産加工組合

朝早く加工場を訪ねてみると、元気のいい話し声が奥から聞こえてきた。中を覗くと、4、5人のおばあちゃんがせっせと手際よく饅頭を作っていました。『すみません。西予市議会だよりですが、ちょっと取材をさせてもらってもよろしいですか』と声をかけると愛想よく『どうぞどうぞ』と返事が返ってきました。早速取材開始。農産加工組合は、昭和58年に、当時廃校になった、中筋中学校の給食室を借りて、組合がスタート。その後稲作の減反政策の補助を受けて現在の施設が建てられたそうです。会員は10名。常時5、6人が現場で働かれています。

主な加工品は『味噌、饅頭、こんにゃく、もち』などを、年間を通して作られています。ピーク時は年間の売り上げが1千万円を超えたこともあるということでした。

作業は毎日朝7時30分ごろから午後の1時頃まで、出来た商品は町内の『乙亥会館』『とれとれ市』で販売されています。

元気で頑張る中筋農産加工組合

今後の課題は、自分たちの後継者が確保できるかどうか心配されています。いつまでもお元気で頑張ってください。（元親）

城川町 奥伊予味彩工房

山里の高度加工処理施設として、平成15年9月に発足、4年目を迎えています。

JA営農部直販課として15名のスタッフで地元の農産物を自社加工し、北は北海道から南は沖縄まで、42都道府県へ店舗直送で、現在取引先は200店舗ほど。製造管理システムを導入し、生産者履歴・製造経過・消費保証管理等、生産者と製造者・店舗が連携し消費者一体化商品の製造に努めています。



味彩工房　看板

ゆずの加工作業

ゆず・みかんなど、果実はすべて西予市産、蜂蜜は南予地方のみかん蜂蜜を使用、無添加にこだわっています。

マーマレード類年間20万本・その他ゆず酢・ゆず醤油・ゆずドレッシングなどゆず果汁の原料年間約300トンを使用、ゆずの里奥伊予ならではの風味豊かなゆず製品の製造に忙しい毎日です。（鍵原）